

授業改善② ～学習形態の工夫・「チーム学習」～ 北野小学校長 丹羽 郁人

私たちは、子供たちの「生きる力」を育むことを目指しています。その力とは、子供自身が考え、判断し、行動できる力です。教師が一方的に知識を伝授するだけの「授業」では、その力は育たないと考えます。そのためには「授業改善」が必要。どんな授業かと言えば「主体的・対話的で深い学び」のある授業です。

全員が前を向き、教員が知識を授けるだけの「講義型」の授業から脱却します。そのために座席の配置等、学習形態を工夫します。また、グループ学習をするときに、それぞれの役割をもたせます。これを「チーム学習」と呼び、積極的に導入していきます。



4の3 学級会 山盛誠治教諭授業
互いに向き合っの話し合い

6の3 家庭科 加藤峰子教諭授業
4, 5名のグループで立案



6の1 社会科 加藤結花教諭授業
帽子の色で立場を明らかにし、ディベート的話し合い
テーマ「増税すべきか、見直すべきか」

「授業改善」へ

- ☆ クラスの実態に合わせ、座席の配置等「学習形態」を工夫します。
- ☆ ペア学習、グループ学習を意識的に取り入れます。「チーム学習」へ。
- ☆ 発言は、クラスみんなに向かって言うことを習慣づけます。
- ☆ 前に出て発言することを厭わない子をみんなで育てます。